

部局名	教育委員会	所属名	青少年センター	所属長名	仁井山 久夫	電話	483-2842
-----	-------	-----	---------	------	--------	----	----------

## 1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	4069	事務事業名称	青少年センター運営事業				短縮コード	経常	4069	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	八千代市青少年センター設置条例施行規則								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
青少年の非行防止と健全育成を図るために、八千代市青少年センター設置条例が昭和53年に制定され、八千代市青少年センター（以下「青少年センター」という）が設置された。青少年センターの適正かつ円滑な運営を踏まえ、活動に必要な施策を協議決定するため、八千代市青少年センター運営協議会（以下「協議会」という）を設置し、地域等との連携を図りながら青少年の補導活動を推進するために、八千代市青少年補導委員（以下「補導委員」という）を設置している。また条例第3条に関わる業務を円滑に行うため八千代市学校警察連絡委員会事務局として活動をしている。青少年センターは、これらの協議会等の連携を通じて、青少年の非行防止・健全育成を踏まえ街頭補導活動、相談業務の充実・情報の共有化、健全育成に関わる広報活動等について諸活動を計画・運営している。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	02	人間尊重都市をめざして					
昨年度の青少年センターでの街頭補導活動において、前年度と比較してみると中学生女子の補導数が増加傾向にあり、非行の入口にたっている傾向が見受けられる。青少年のプロフのモニタリングにおいても、公共の場で未成年の間での飲酒や喫煙、外泊等が見受けられるのが、現状である。こうした非行を未然に防ぐために、今後も非行に繋がりがやすい場所を把握しながら重点的に補導活動を行う必要がある。又、携帯サイトのモニタリング等においては、他市生徒とのリンクが増加し、携帯がツールとなり、非行を助長する傾向にある。今後も携帯サイトを中心としたプロフ等のモニタリングを定期的に行いながら、学校や警察等関係機関に必要な情報を提供していく必要がある。近年では、家庭内での非行も増加しており、青少年補導委員による街頭補導活動は、地域社会や家庭との連携をより深め、地域ぐるみで青少年を育てていく重要な役割を担う。					大項目 (節)	03	青少年健全育成					
					中項目	01	青少年健全育成					
					小項目 (施策)	02	青少年健全育成事業の推進					
					細項目	04	非行防止活動の推進					
					実施計画の計画事業							
				計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円

## 2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	青少年						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成22年度に実際に行ったこと: 街頭補導活動、青少年非行防止のための会議、研修、各種行事への参加、学校と警察の連携、善行表彰、各学期休業中のしおりの作成、通報・相談業務、広報誌への掲載、青少年センター運営協議会の開催、青少年のプロフのモニタリング  ※平成23年度に計画していること: 街頭補導活動、青少年非行防止のための会議、研修、各種行事への参加、学校と警察の連携、善行表彰、各学期休業中のしおりの作成、通報・相談業務、広報誌への掲載、青少年センター運営協議会の開催、青少年のプロフのモニタリング						
意図 (何を狙っているのか)	○非行児童生徒の発見・指導○青少年補導委員の資質の向上、補導委員相互の連携を図る。○学校と警察の連携を図り、情報交換を行う。○非行防止・事故防止や善行の奨励等青少年の健全育成について周知する。						
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外						
区分		単位	21年度	22年度		23年度	
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	青少年補導数	人	210	210	289	289
	指標2	学校警察連絡委員会活動	日	25	25	25	25
	指標3	補導委員連絡協議会活動	日	50	50	50	50
活動指標	指標1	街頭補導活動	日	286	290	300	300
	指標2	学校警察連絡委員会活動	日	25	25	25	25
	指標3	補導委員連絡協議会活動	日	50	50	50	50
成果指標	指標1	街頭補導活動	日	286	290	300	300
	指標2	学校警察連絡委員会活動	日	25	25	25	25
	指標3	補導委員連絡協議会活動	日	50	50	50	50
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	4069	事務事業名称	青少年センター運営事業			所属名	青少年センター
	単位	21年度		22年度		23年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	250	250	250	250
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,634	2,160	1,686	1,712
		その他	千円	0	0	0	0
主な事業費の内訳		印刷製本費280千円 報償費516千円 通信運搬費179千円		印刷製本費288千円 報償費730千円 通信運搬費240千円 消耗品費166千円		印刷製本費280千円 報償費551千円 通信運搬費155千円	
印刷製本費280千円 報償費540千円 通信運搬費63千円							
人件費(B)		千円	34,883.7	34,587	34,821.8	34,821.8	34,821.8
トータルコスト(A)+(B)		千円	36,767.7	36,997	36,757.8	36,783.8	36,783.8

### 3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	青少年健全育成事業の推進, 非行防止活動の推進と一致している。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	それぞれの活動を通じて、青少年の非行防止に結びついているが、完全に防止するというのは難しいのが現状である。更なる非行防止活動を推進させるために今後も継続が必要となってくる。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	青少年補導委員については、地域のボランティアとして活動し、長年、各地域の青少年の現状を把握している方も多数いる。学校警察連絡委員会については、各学校と警察を中心に活動しているので民営化はなじまない。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	現状の「対象」「意図」で、現状の事業の目的を現せる。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	現状として、青少年のプロフのモニタリングにおいて様々な非行が見受けられる。前年度はモニタリング用に携帯電話を購入し、パソコンから入れない画面をチェックできるようにした。平成23年度は携帯等のモニタリングの回数を増加させてより多くの情報を把握し、学校や警察等関係機関へ必要な情報提供を行っていくこと、また非行に結びつきやすい場所を把握し重点的に街頭補導活動を行っていくことが、今後青少年の非行を未然に防ぐ対策として有効となる。またより多くのモニタリングができるように必要な知識と技術を持った再任用職員を新たに配置し活用していく。			
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法		2		実施主体(所管部署)	
	<input type="checkbox"/> ある					
<input checked="" type="checkbox"/> ない						

コード	4069	事務事業名称	青少年センター運営事業			所属名	青少年センター																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続			青少年の非行防止活動を行っている事業であり、今後も継続が必要である。青少年のプロフのモニタリングにおいては、市内の公共の場や家庭内での飲酒、喫煙等の様々な非行が見受けられるのが現状である。情報を的確に把握し、非行に結びつきやすい場所を重点的に街頭補導活動を行っていく必要がある。また、携帯をツールとして青少年の非行に結びつきやすい行動が見受けられるため、携帯サイトを中心としたモニタリングの回数を増加させていくことによって、多くの情報を把握し、学校や警察等の関係機関に的確で迅速に情報提供していくことが、今後の青少年非行や青少年犯罪を未然に防ぐ手段として有効になる。より多くのモニタリングができるよう、現在モニタリングに必要な知識と技術を持った再任用職員を配置し、より多くのモニタリングができるようにしたい。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	街頭補導活動については、青少年補導委員と情報を共有化しながら連携して、非行に結びつきやすい場所を今後も重点的に行っていく。青少年のプロフのモニタリングについては、モニタリングに必要なプロフ数が増加しているため、モニタリングに必要な知識と技術を持った再任用職員を活用していく。
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特になし	

所属長コメント	青少年の問題行動や非行を未然に防ぐことが重要な課題であり、青少年の動向をいろいろな手段によって把握することが求められている。学校と警察等の関係機関が連携を図ることはもとより、家庭や地域との連携を一層深め、情報を収集・整理し、未然に不良行為を防ぐ手立てを講じることが必要である。そのためには、プロフ等の携帯サイトからの情報についても、的確に把握・整理し、関係機関との情報の共有化を図り、連携した行動をとることが非行防止につながる。	
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	青少年の非行防止のためのモニタリングについては、順次推進すること。 また、再任用職員等の活用については、対応可能な業務を十分に検討・整理したうえで、推進すること。